

平成26年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)	研究科名	医学研究科	カテゴリー	社会科学総合科目 群／環境・生命・医 療科目群	横断 区分	文理横断型		
授業科目名 (英訳)	医学コミュニケーション:演習 (Applied Medical Communication)		講義担当者 所属・氏名	医学研究科 岩隈美穂		開講 場所	吉田キャンパス にて開講予定		
配当 学年	修士 博士後期 専門職	単位 数	2単位	開講 期	後期	曜 時 限	火5限 (16:30-18:00)	授業 形態	講義・演習
【授業の概要・目的】									
<ul style="list-style-type: none"> 医療・医学と社会との関係を理解する。 コミュニケーションが医学・医療に果たす役割について理解する。 自分の研究テーマを明確にし、テーマに関しての詳しい文献調査を行う。 									
【研究科横断型教育の概要・目的】									
<p>従来ではあまり取り上げてこなかった、医学・医療の社会科学側面を考える機会とする。コミュニケーション、ナラティブ、当事者といった現代医療の重要なテーマについて、医療系、社会科学系の学生たちが討議する参加型の演習、シミュレーションゲームなどを行うことによって、理解の深化を図る。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>最初の授業(イントロダクション)のあと、以下のテーマについて、各2～3回程度の講義と演習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会学からみた医療 (異文化)コミュニケーションからみた医療 障害学からみた医療 学生によるプレゼンテーション1～2(履修人数による) <p>加えて、以下のテーマについてゲスト講義も予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 異職種教育(IPE): 医・看・薬間コミュニケーション (千葉大学 酒井郁子氏) 仏教からみた医療:実践 (飛騨千光寺住職 大下大圓氏) 									
【履修要件】									
<p>✓ 医療・医学への <i>社会科学的アプローチ</i>に興味のある学生向け。 ✓ 15人程度を履修人数とし、登録人数が超えた場合は何らかの形で選抜する。</p>									
【成績評価の方法・基準】									
<ol style="list-style-type: none"> 平常点(授業参加、授業態度を含む)30% レポート 60% タイトル(10%) + ドラフト(希望者・20%) + 最終レポート(30%) レポート発表(履修人数による)10% 									
【教科書】									
随時プリントなどを配布する									
【参考書等】									
特になし									

[その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)]

- ✓ 15人程度を履修人数とし、登録人数を超えた場合は何らかの形で選抜する。
 - ✓ 医学「コミュニケーション」のクラスなので、課題テーマに「関係性、心理、つながり、コミュニティ、コミュニケーション、社会」などのキーワードが入ること。
 - ✓ 「医療者 対 患者」のコミュニケーションは「医療」コミュニケーション(ヘルス・コミュニケーション)と考えているため、授業では重点を置く予定はない。「医療コミュニケーション」について興味・関心がある方は、他のクラスを履修されることをお勧めする。
 - ✓ 障害があり、授業あるいは課題への取り組みに配慮(Accommodation)が必要な場合、早めに相談に来ること。
 - ✓ オフィスアワーは特に設けないため、事前にアポイントメントを取ること
- 面談希望はまずメールあるいは電話でご連絡下さい。
- miwakuma@yahoo.co.jp or 753-4668